

日本鳥学会 2006 年度大会プログラム

会期 9月15日(金) 各種委員会、評議員会、自由集会
 9月16日(土) 口頭発表、ポスタートーク、ポスター発表、自由集会
 9月17日(日) ポスター発表、総会、公開シンポジウム、懇親会
 9月18日(月) 口頭発表、特別講演会、自由集会
 9月19日(火) エクスカーション

会場 一般講演・懇親会・各種委員会会場：岩手大学キャンパス
 口頭発表 A 会場：学生センター G1 大講義室
 口頭発表 B 会場：学生センター G2 大講義室
 ポスター会場：第二体育館
 ポスタートーク：学生センター G1 大講義室
 自由集会：農学部講義室・学生センター棟講義室
 懇親会：ホテル東日本
 各種委員会：農学部会議室・講義室
 評議員会：農学部会議室
 公開シンポジウム・総会会場：
 いわて県民情報交流センター（アイーナホール）

日程

	15日(金)	16日(土)	17日(日)	18日(月)	19日(火)
9-					エクスカーション
10-		口頭発表	ポスター発表	口頭発表	
11-					
12-	各種委員会				
13-		口頭発表	総会	自由集会	
14-		ポスタートーク		特別講演会	
15-					
16-		ポスター発表	公開シンポジウム		
17-					
18-	評議員会	自由集会			
19-		自由集会	懇親会		
20-					

受付・クローク

受付を学生センター正面玄関前に設置します。受付時間は15日が16:30から、16、17、18日は、8:30からといたします。受付時に名札をお渡しいたします。大会期間中は名札の着用をお願いします。

クロークを受付横に設けますのでご利用ください。預かり時間は、16日は8:30から18:30まで、17、18日は8:30から13:00までです。自由集会、総会、公開シンポジウム、懇親会にはクロークの荷物を引き取ってからご参加ください。

口頭発表

発表時間12分、質疑応答が2分30秒を厳守してください。発表開始後10分で予鈴、12分で2鈴、14分30秒で終鈴を鳴らします。発表にはOHP、液晶プロジェクターが利用できます。会場のPCをご利用の場合は、あらかじめファイルを移しておいてください。持参したPCの場合は、3人前の演者の質疑応答中にモニタ切替器への接続を完了しておいてください。発表終了後はすみやかにPCをモニタ切替器からはずして席にお戻りください。

ポスター発表（高校生のポスター発表を含む）

ポスター番号が偶数の発表は16日、奇数の発表は17日です。発表者は、時間内はボードの前で解説をお願いします。

ポスターは両日とも展示可能です。ポスターは、16日の11時からボードに貼ることができます。17日の遅くとも午後1時までには片付けてください。画鋏とテープは会場に用意します。

ポスタートークは、16日の口頭発表終了後、B会場（G2大講義室）で行います。発表時間は2分、液晶プロジェクターかOHPを使用することができます。

自由集会

自由集会の開催時間は、15日が18:00~20:00、16日が18:30~20:30、18日が13:00~15:00です。機材の貸し出し返却、会場の運営と片付けは主催者の責任で行ってください。

展示ブース

大会中、業者の展示・販売を行いますので、ご利用ください。

総会

17日（日）の13:00~15:00にいわて県民情報交流センター（アイーナホール）で行います。学会員の方は極力出席ください。

昼食

16日（土）はキャンパス内の中央食堂で食事ができます。17日（日）と18日（月）については、事前に弁当を予約され、受付時に代金を払われた方に、11:50分頃より受付付近で弁当をお渡しします。また、大会当日も朝の9時までの弁当の予約は可能です。

そのほか

本大会では、講演のビデオ撮影は、演者がビデオ撮影を認めると意思表示されている場合に限り認めています。また、撮影される場合でも周囲の方のご迷惑にならないようにしてください。

公開シンポジウム

野鳥の保護は農林業と共存可能か

日時：9月17日（日） 15：00～18：00

場所：いわて県民情報交流センター（アイーナホール）

農林業は、時として野鳥の生息を脅かす存在となりますが、一方では農林業によって維持されてきた生息地に適応してきた野鳥も少なくありません。農林業と野鳥との関係をひも解き、野鳥の保全に向けた農林業の取り組みとその果たす役割について、以下の方々に議論していただきます。

開催にあたって：由井正敏（岩手県立大学・総合政策）

S-1 北上高地のイヌワシと林業

由井正敏（岩手県立大学・総合政策）

S-2 人工林の林分構造とランドスケープ構造が鳥類群集に及ぼす影響

山浦悠一（森林総研）・加藤和弘（東大・農・緑実）

S-3 偶然から必然へ ～偶然成り立つ野鳥との共生～

東 信行（弘前大・農業生命科学）

S-4 冬期湛水田におけるガンカモ類との共存

呉地正行（日本雁を保護する会）

総合討論（40分）

コーディネーター：東 淳樹（岩手大・農）

特別講演

わが国の野生鳥類保全に関する問題点

山岸 哲（山階鳥類研究所所長；元日本鳥学会会長）

日時：9月18日（月・祝）13：30～15：30

場所：岩手県立博物館 講堂
〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34

主催：岩手県立博物館

共催：日本鳥学会 2006 年度大会実行委員会

事前の申し込みが必要となっています。

講師プロフィール

1939年長野県生まれ。61年信州大学教育学部卒。大阪市立大学理学部教授、京都大学大学院理学研究科教授などを経て、2002年から山階鳥類研究所所長。2005年から東京農業大学客員教授。理学博士（京大）。専門は鳥類学・動物生態学。元日本鳥学会会長。現在、応用生態工学会会長。河川生態学術研究会委員長。河川環境目標検討委員会委員長。『マダガスカル自然紀行』『オシドリは浮気をしないのか』（中央公論新社）『これからの鳥類学』（裳華房）『鳥類学辞典』（昭和堂）『けさの鳥』（朝日新聞）など鳥類に関する著書・編著多数。